

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (混合不燃物)

(気仙沼ブロック (気仙沼処理区) 一次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
11月7日	0.048	0.061

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
11月7日	0.031	0.025	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
11月8日	1	0.05	0.05	0.06
	2	0.05	0.05	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
7月19日	13	(10)	39	(10)	52
9月29日	ND	(10)	21	(10)	31
10月7日	ND	(10)	11	(10)	21

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (混合不燃物)

(気仙沼ブロック (気仙沼処理区) 一次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
11月13日	0.050	0.063

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から1mの高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
11月13日	0.028	0.022	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
11月14日	1	0.05	0.05	0.05
	2	0.04	0.04	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離1mにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近3ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム134		セシウム137		合計(A)
9月29日	ND	(10)	21	(10)	31
10月7日	ND	(10)	11	(10)	21
11月5日	ND	(10)	29	(10)	39

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法: 平成4年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (混合不燃物)

(気仙沼ブロック (気仙沼処理区) 一次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
11月19日	0.051	0.065

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
11月19日	0.028	0.022	0.006

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
11月20日	1	0.05	0.05	0.05
	2	0.05	0.05	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134	セシウム 137	合計(A)
9月29日	ND (10)	21 (10)	31
10月7日	ND (10)	11 (10)	21
11月5日	ND (10)	29 (10)	39

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (混合不燃物)

(気仙沼ブロック (気仙沼処理区) 一次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
11月24日	0.047	0.060

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
11月24日	0.027	0.018	0.009

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
11月25日	1	0.05	0.05	0.06
	2	0.05	0.05	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
9月29日	ND	(10)	21	(10)	31
10月7日	ND	(10)	11	(10)	21
11月5日	ND	(10)	29	(10)	39

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。

災害廃棄物受入事業 放射線量等測定結果 (混合不燃物)

(気仙沼ブロック (気仙沼処理区) 一次仮置き場)

1 スtockヤードの空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	空間線量率(A)	バックグラウンド
11月26日	0.036	0.060

※搬出基準: (A) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※地面から 1m の高さにおいて測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

2 災害廃棄物の遮蔽線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

測定日	災害廃棄物(A)	バックグラウンド(B)	(C)=(A)-(B)
11月26日	0.023	0.015	0.008

※搬出基準: (C) $\leq 0.01 \mu\text{Sv/h}$

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償無)

3 積み込み後の運搬車両の空間線量率

単位: $\mu\text{Sv/h}$

搬出日		空間線量率		
		搬入車両左面(A)	搬入車両右面(B)	バックグラウンド
11月27日	1	0.04	0.04	0.05
	2	0.05	0.05	
	3			
	4			
	5			

※搬出基準: (A) 又は (B) $\leq 0.23 \mu\text{Sv/h}$

※各車両左右側面中央部, 距離 1m において測定

※測定器: NaI シンチレーションサーベイメータ (エネルギー補償有)

4 災害廃棄物の放射性物質濃度 (直近 3 ヶ月分)

単位: Bq/kg

測定日	セシウム 134		セシウム 137		合計(A)
9月29日	ND	(10)	21	(10)	31
10月7日	ND	(10)	11	(10)	21
11月5日	ND	(10)	29	(10)	39

※搬出基準: (A) $\leq 100\text{Bq/kg}$

※測定方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 7「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」に準拠

前処理方法 : 平成 4 年 科学技術庁 放射能測定法シリーズ 24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」に準拠

※「ND」とは, 検出下限値未満を表す。また, ()内は検出下限値を表す。